

動作。

いつわる 「欺く」「嘘」と同じ手まね。

移転 胸の前に「家」を表わした両手をそのまま、左方、或は右方に移す。

井戸 左右の人差指と中指を組合わせて「井」形をつくる。

田舎 掌を下に向けた左右の手を前後にして、五指を屈めて、土を掘り返えす身振り。

○農業を表わす。

稲光 左右の人差指を指頭で山形に合わせ、それを左右に離して、稲妻の形を描く

犬 左右の親指の指頭を、左右のこめかみにつけ、他の四指を下に垂らして、こまかく動かす。犬の垂れた耳を表わしたもの。

猪 五指を彎曲した手の甲の方を鼻頭につけて、猪の突き出た鼻を表わし、次に牙を表わすつもりで、両手の曲げた人差指を口の両

側につける。

威張る 五指の指頭を集めて、鼻頭に持つて行き、鼻をつまみ伸ばす心持ちで、前方へ引き出す。鼻高を意味し、「自慢する」ともなる。次に胸を張り、両肘を左右に張る。昂然とした態。

訝かる 「怪しむ」と同じ手まね。

今 「現在」と同じ。

意味 握り拳にした左手の手首のちょうど下を、指頭を前方にさした右手の人差指を錐をもむようにして斜め下に突き降して行く。「意味」をほじくること。「研究」の手まねにもなる。

芋 五指をまるく彎曲した指頭を額の横に、次に頭の上にと置いて見せる。額や頭に出来た瘤をたとえて芋のでこぼこの形状を表わしたもの。

妹 肉親の前提手まねあって女性（葉指）

腹部前に下げる。

嫌や (4)「嫌らい」と同じ手まね。(4) 掌を胸にあてると直ぐに強く前方へ弾ね返らすように離す。「胸くそが悪い」の意味。

違約 左手の曲げた小指に、右手のこれも曲げた小指を下からかけて(約束)から、次に右手の小指をはずして下へ落とす。「約束を破る」のである。

卑しい 左の掌の上に、指頭を上にした右手の親指を載せて、そのまま両手を下へ下げる。身分の低いこと。

以来 として一から。「として」は「何々して」「何々があつて」と動作、事の完了、即ち左手掌の上に右手掌を叩き降す。「から」は「時(時の流れ)」を見よ。

○「結婚来して以来」とするには、結婚して一時の流れ。

依頼 任かせる—お願い。任かせるは、一

任と同じ手まね。お願いは、左手の腕を右手の拳で叩いて、その五指を開いて拜む。

苛立つ 「焦せる」「周章てる」と同じ手まねであるが、この場合両手の運動を一層激しく速やく。

入目 掌を下向けて五指の指頭を右にさした左手を地平線と見なして、右手の親指と人差指をまるく曲げて半輪を形どり、それを太陽として、左手の前すれすれに下へ落して行く。日没の光景。「夕方」の手まねにもなる。

入用 必要—金。

いろいろ 胸の前で指頭を左にさした親指と人差指をコの字形に開いた右手掌を下に向けて、上向きに反転させては下に向ける運動を繰り返しながら肘を右へ引いて行く。人差指と親指と交互に「これも」「それも」と指示した身振りから、集約された手まねと見てよい。この手まねは「事」「物」の意味にも